

十日町市立十日町中学校

丘辺に建てる学び舎

学校ホームページ 二次元コード→



令和7年
12月24日号
Tel
757-2306

2学期終了

校長 山本 平生

まだ残暑厳しい8月の終わりから、田畠を真っ白い霜が覆う12月まで、夏、秋、冬の三つの季節をまたいだ2学期が終了しました。

体育祭に始まり、各種新人戦、合唱コンクール、生徒会選挙など、生徒一人一人が精一杯活動する場面がたくさんあった2学期でした。それぞれの場面で活躍する姿に、十中生の底力を見た思いです。

こうした生徒たちの努力と成果は、地域の皆様や保護者の方々の温かいご支援とご協力があってこそ実現したものでした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、先日の全校朝会で、こんな話をしました。

【自己決定の力を高めよう】

ある研究で、2万人の日本人に対して調査を行い、幸福感の高まりに関係する要因を調べたそうです。人が幸福感を感じたり、幸福感が増加したりすることに大きな影響を与えるもの、つまり「幸せになるために何が必要か」ということの研究です。「所得」でしょうか。収入が大きくなれば幸福感は大きくなりそうな気がします。「学歴」でしょうか。「いい学校」に入って「いい会社」に就職することは幸福感につながるのでしょうか。

この調査の中で「学歴」は、それほど幸福感に関係しないことが統計的に明らかになっていました。それに比べて、「所得」はある程度関係が見えるものの、所得が増加（年々、年収増になった）としても、幸福感はそれほど増加しないことがわかりました。

学歴や所得よりも強い影響を与えたものが「自己決定」でした。自分で人生の選択をすることによって、選んだ行動の動機付けと満足度を高め、それが幸福感を高めることにつながるのだろうと考えられています。端的に言えば、「自分の人生の中で『自己決定』の経験をたくさんした人ほど、人生の充実感、満足感、達成感を多く感じ『幸福感』を高めることになる」ということです。

小さな自己決定からでよいので、誰かにやれと言われるのではなく、「自分で決めて自分で実行する」ことをみなさんも積み重ねていってほしいのです。

25日から1月7日まで14日間の、冬休みに入ります。(2年生は2学期中に学年閉鎖した分、冬休み中に1日だけ登校します。)それぞれの学年、それぞれの人によって過ごし方が少し異なる長い休みになります。3年生にとっては、進路を見据えて過ごす冬休みになるでしょう。2年生、1年生は「部活をがんばる」「勉強もがんばる」「家族の一員として…」と、様々ながんばることがある冬休みです。学校から離れた時間、どんな過ごし方をするか、まさに「自己決定」していってください。

結びに、来る令和8年が皆様にとっても、そして生徒一人一人にとっても素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。良いお年をお迎えください。

生徒会役員選挙立会演説会・投票

3日(水)、インフルエンザの感染拡大により延期した令和8年度生徒会役員選挙立会演説会・投票を実施しました。

立会演説会では、各候補者が自分の思いや考えを全校生徒に堂々と発表しました。また、これまで各候補者を一番近くで支えてきた責任者も、熱い応援演説を行いました。候補者・責任者共に、その姿はとても立派でした。全校生徒も、そんな候補者の思いに応えるように真剣な態度で演説を聞き、質問者も候補者の公約に対して建設的な質問をしていました。

その後の投票は、選挙管理委員会の運営に基づき、厳粛な雰囲気の中、本物の選挙と同じ記載台・投票箱を使って投票を行いました。投票の結果、以下のとおり令和8年度生徒会三役が決定しました。

来年度、新正副会長・応援団長に協力して、全校生徒で十中を更により良くしていってほしいと思います！

【令和8年度生徒会三役】

生徒会長：2年男子
男子副会長：2年男子
女子副会長：2年女子
応援団長：2年男子



小中交流会

17日(水)、生徒会役員選挙と同様に延期した拡大中学校区小中一貫教育の事業「小中交流会」を実施しました。

5限は小学6年生が2つのグループに分かれて、中学校の国語と英語の授業を体験しました。どちらの授業もグループ活動をメインに、6年生は楽しみながら活動していました。

その後、体育館で絆集会（いじめ見逃しゼロスクール集会）を行いました。最初に中学生と6年生で混成した小グループで自己紹介をし、その後、小グループでヒントクイズ「カタカナーシ」に協力して取り組みました。次に友達同士のSNSのトラブルを題材とした動画を視聴し、「何が問題だったか」「どのように行動するべきだったか」などについて、グループ内で意見交換を行いました。そして最後に各グループで、「学校を安心・安全な場所にするためにできること」を考え、全体発表をしました。それぞれのグループで中学生がリードしながら、小中学生が積極的に関わり合っていました。

絆集会後、部活動見学を実施しました。最初は授業体験と同様に2つのグループに分かれて全ての部活動を回り、その後、自由に見学をしました。中学生は6年生にかっこいい姿を見せようといつも以上に張り切って練習に取り組んでいました。6年生も興味をもって各部活を見学していました。

小中交流会の様々な活動を通して、6年生は先輩に憧れの気持ちをもったと思います。これからも小学生の目標となる十中生であってほしいと願っています。



活躍する十中生



【吹奏楽部】

新潟県アンサンブルコンテスト 金賞 打楽器三重奏

【新潟県ジュニア美術展覧会】

佳作 2年女子3名 1年女子2名

【新潟県中越教育美術展】

銅賞 2年男子1名、2年女子1名

佳作 2年男子1名、2年女子4名

1年男子2名



【全国中学生人権作文コンテスト十日町地区大会】

協議会優秀賞 3年女子2名

【いきいきわくわく科学賞 2025 (第61回新潟県児童生徒科学研究発表会)】

優秀賞 2年男子1名 奨励賞 2年女子1名、1年男子1名

